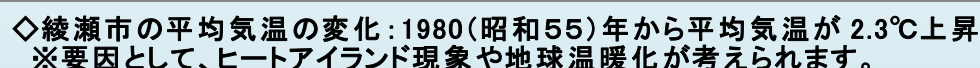


2023（令和5）年度取組結果



目 次

1	はじめに	1
	第3次綾瀬市環境基本計画	2
2	2023(令和5)年度 of 取組評価(まとめ)	3
3	各計画の報告	
(1)	第3次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
(2)	第1期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
(3)	綾瀬市地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 取組結果	12
(4)	第4次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) 取組結果	22
	【 資料編 】	
(1)	第3次綾瀬市環境基本計画 環境指標	27
(2)	第1期綾瀬市環境行動計画	30
(3)	第4次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	41
(4)	市民環境団体の活動報告	46
(5)	エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告	51

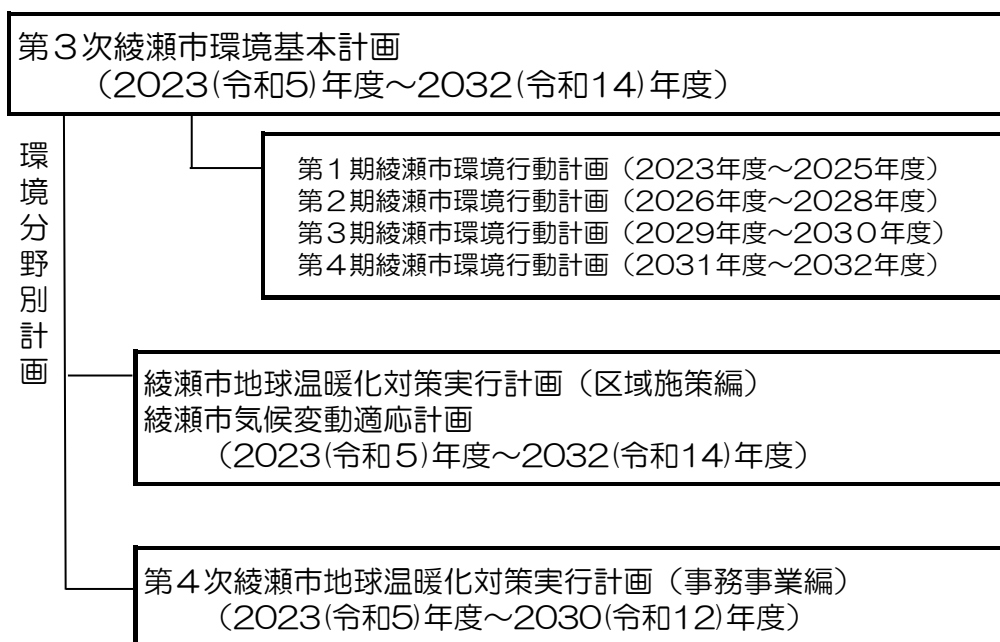
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第3次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、2023(令和5)年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタートプランであり、5つの環境の将来像、16の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、綾瀬市気候変動適応計画：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第4次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画



【 第3次綾瀬市環境基本計画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境負荷のない暮らしを实践し、持続可能なまちづくりを進める

環境の将来像 1

多様な生きものが生息し、豊かな緑と水が身近に感じられるまち
(自然共生社会の実現)

1

生物多様性の保全
～カワセミなど多様な生きものが生息するまち～

2

緑と水辺環境の保全
～ホタルが飛び親しめるまち～

3

農地と里地里山の保全
～田園と富士山、大山の景観～

環境の将来像 2

安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち
(生活環境の保全)

1

大気環境の保全

2

水質環境及び土壌の保全

3

騒音・振動への対応
～航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまち～

4

環境美化活動の推進

環境の将来像 3

ごみの減量化や3Rを進め、資源を大切に利用するまち
(循環型社会の実現)

1

廃棄物の発生・排出抑制・適正処理

2

廃棄物の資源化の推進

環境の将来像 4

脱炭素の実現に向けて、みんなで省エネや創エネに取り組むまち
(脱炭素社会の実現)

1

気候変動緩和策の推進
～再生可能エネルギーの活用～

2

気候変動緩和策の推進
～省エネルギー化などの推進～

3

気候変動適応策の推進

1

環境教育の推進

2

環境保全活動の推進

3

事業所における環境保全活動の推進

4

環境情報の整備と発信

環境の将来像 5

子どもから大人までみんなで環境を学び、活躍する人が育つまち
(環境教育・協働の推進)

2 2023(令和5)年度の取組評価(まとめ)

2023(令和5)年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【各計画の目標達成状況】

- (1) 基本計画の2023(令和5)年度環境指標として掲げられた36指標のうち、21指標を目標どおり実施しました。15指標は事業に着手しているものの目標値に届きませんでした。

【本文：P 6～8、資料編P 27～29】

- (2) 行動計画として設定した84項目のうち、76項目を目標どおり、6項目が一部未実施又は一部未達成、2項目が未実施又は未達成となりました。

【本文：P 9～11、資料編：P 30～39】

- (3) 区域施策編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量(2021(令和3)年度)は、777千t-CO₂となり基準年度比23.1%の削減となりました。

【本文：P 12～21】

- (4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,001t-CO₂となり基準年度比8.4%の削減となりました。

【本文：P 22～26、資料編：P 41～45】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 環境指標については、達成率の低かった環境の将来像 4 (脱炭素社会の実現) の達成率向上を目指し、取り組みます。
- (2) 行動計画については、一部未実施又は一部未達成となった 6 項目や、未実施又は未達成となった 2 項目について、達成できるよう取り組みます。
- (3) 区域編については、引き続き「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと 2 1」などの事業に取り組みます。
- (4) 事務事業編については引き続き、省エネルギー行動に取り組むとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用や Z E B 化などハードの整備による省エネルギー化に取り組みます。

綾瀬市環境報告書 2023(令和5)年度取組結果 未実施又は未達成事項一覧

各計画の未実施又は未達成事項は、2項目となりました。

No.	目 標	結 果	今後の取り組み	ページ
第1期綾瀬市環境行動計画 (2023(令和5)年度～2025(令和7)年度)				
1	2 安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち（生活環境の保全） ② 水質環境及び土壌の保全 11-1 合併浄化槽整備補助金：実施計画に基づいて推進	2023：申請0件	引き続き補助金制度の周知を実施します。	31
2	4 脱炭素の実現に向けて、みんなで省エネや創エネに取り組むまち（脱炭素社会の実現） ② 気候変動緩和策の推進～省エネルギー化などの推進～ 40-15 市役所の電気使用量の削減 (2013(平成25)年度比)：2%削減	2013：1,427,493kWh 2023：1,477,455kWh (約3.5%増)	引き続き不必要な照明の消灯など節電を実施します。	35

3 各計画の報告

第3次綾瀬市環境基本計画

(2023(令和5)年度～2032(令和14)年度)

2023(令和5)年度環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第3次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、2032(令和14)年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 2023(令和5)年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 2023(令和5)年度の環境指標結果

環境の将来像1～5に掲げられた36指標のうち、21指標を目標どおり実施しました。15指標は事業に着手しているものの目標値に届きませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました（資料編参照P27～）。○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆環境の将来像1 多様な生きものが生息し、豊かな緑と水が身近に感じられるまち（自然共生社会の実現）

7指標：○2指標、△5指標

○ 1-1「緑による生きものの生息・生育環境の確保」、3-3「緑地の確保」、4-4「市民一人当たりの都市公園の面積」、6-6「市内農業体験農園利用」、7-7「地産地消の意味を知っている人の割合」については、目標を達成できませんでした。県や地権者と交渉を重ね、緑地の保

全・確保等を推進していく必要があります。

◆**環境の将来像 2** 安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち（生活環境の保全） 10 指標：○ 10 指標

○ すべての項目で目標を達成できました。

◆**環境の将来像 3** ごみの減量化や 3Rを進め、資源を大切に利用するまち（循環型社会の実現） 6 指標：○ 1 指標、△ 5 指標

○ 19-2「事業系ごみ量」、20-3「焼却処理されるごみ量」、21-4「1 人 1 日あたりの家庭系可燃ごみ量」、22-5「食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている人の割合」、23-6「リサイクル率」については目標を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、普及啓発等を行う必要があります。

◆**環境の将来像 4** 脱炭素の実現に向けて、みんなで省エネや創エネに取り組むまち（脱炭素社会の実現） 6 指標：○ 2 指標、△ 4 指標

○ 24-1「設置可能な市有施設（敷地含む）への太陽光発電設備設置割合」、25-2「太陽光発電システム補助による導入容量」、26-3「綾瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における温室効果ガス排出量：2013（H25）年度比」、27-4「綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における温室効果ガス排出量：2013（H25）年度比」については目標を達成できませんでした。引き続き脱炭素社会の実現に向けて、省エネ・創エネを推進します。

◆**環境の将来像 5** 子どもから大人までみんなで環境を学び、活躍する人が育つまち（環境教育・協働の推進） 7 指標：○ 6 指標、△ 1 指標

○ 34-5「あやせエコっと21事業所編（登録事業所）」について目標を達成できませんでした。引き続き、市民や事業者などとの協働を推進し登録制度の周知について積極的に行う必要があります。

4 今後の取組

全ての将来像において、目標を達成できていない指標があります。

その中でも「環境の将来像 1（自然共生社会の実現）」は、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、県や地権者と交渉を重ね、緑地の保全・確保等を引き続き推進していく必要があります。

また、「環境将来像 4（循環型社会の実現）」については、取り組みを実施しているものの指標の半数以上が目標を達成できていません。

更に普及啓発等を行い、循環型社会を目指していきます。

第1期綾瀬市環境行動計画 2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

あやせの緑と水をみんなで育み、環境負荷のない暮らしを实践し、持続可能なまちづくりを進める

2023(令和5)年度 取組結果

1 2023(令和5)年度 環境行動計画の概要

本計画は、第3次綾瀬市環境基本計画の第1期行動計画として、基本目標ごとに定められており、2025(令和7)年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 2023(令和5)年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 2023(令和5)年度の取組結果

環境の将来像1～5に掲げられた行政が行う84項目のうち、76項目を目標どおり、6項目が一部未実施又は一部未達成、2項目が未実施又は未達成となりました。

各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました。（資料編参照P30～）

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

◆環境の将来像1 多様な生きものが生息し、豊かな緑と水が身近に感じられるまち（自然共生社会の実現）10項目：◎8項目、△2項目

○ 概ね目標を達成しましたが、一部未達成となった5-3「市民参画による緑化活動及び維持管理の推進」について、公園愛護会の構成員が高齢化等で減少し、活動が困難になったことから、解散する愛護会が5団体あったため、目標を一部達成できませんでした。また、9-4「農家の労働力不足の解消を目的とした援農ボランティア養成事業」について、農家からの派遣要請が近年横ばいであり、派遣できる援農ボランティアも高齢化し、特定の人での対応となったため目標

を一部達成できませんでした。

◆環境の将来像2 安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち（生活環境の実現） 1項目：× 1項目

- 未達成となった 11-1「合併浄化槽整備補助金」について、補助申請がなかったため、目標を達成できませんでした。引き続き制度の周知などを行っていく必要があります。

◆環境の将来像3 ごみの減量化や 3R を進め、資源を大切に利用するまち（循環型社会の実現） 8項目：◎ 6項目、△ 2項目

- 概ね目標を達成しましたが、一部未達成となった 18-4「可燃ごみ混入雑がみ等分別袋配付事業」について、雑がみ回収促進袋を市内全戸配付することで雑がみの資源回収量が増加しましたが、目標を一部達成できませんでした。19-5「可燃ごみ収集等効率化事業（草木等の資源化による可燃ごみの減量化）」について、草木等の分離回収を実施しましたが、回収に要する人員及び収集体制を確保することができず、目標を一部達成できませんでした。

◆環境の将来像4 脱炭素の実現に向け、みんなで省エネや創エネに取り組むまち（脱炭素社会の実現） 28項目：◎ 25項目、△ 2項目、× 1項目

- 概ね目標を達成しましたが、20-1「太陽光発電等補助制度の実施（個人住宅用、共同住宅用、事業所用太陽光）」については、特定契約のお知らせの発行が遅延したことなどにより目標を一部達成できませんでした。共同住宅用、事業所用太陽光については申請がなかったため、引き続き制度の周知などを行っていく必要があります。21-2「中小企業脱炭素化促進奨励金」については、啓発事業参加企業数の目標は達成しましたが、当初見込んでいた奨励金交付件数については、エネルギーや原材料価格高騰などの影響を受け、環境負荷低減に対する意識が低下したことなどから一部未達成となりました。引き続き制度の周知などを行っていく必要があります。未達成となった 40-15「市役所の電気使用量の削減」については、電気使用量が増加した要因として、温暖化による気温上昇などにより体調不良にならないように空調の使用率が上がったこと、電

気自動車の導入により電気使用量が増えたため目標を達成できませんでした。

◆環境の将来像5 子どもから大人までみんなで環境を学び、活躍する人が育つま

ち（環境教育・協働の推進）37項目：◎37項目

○ すべての項目について、目標を達成しました。

4 今後の取り組み

「環境の将来像1（自然共生社会の実現）」については、特に援農ボランティア事業等の農業振興事業を推進し充実させる必要があります。

「環境の将来像2（生活環境の保全）」については、引き続き補助金制度の周知などを行っていきます。

「環境の将来像3（循環型社会の実現）」については、循環型社会の構築に向けて啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

「環境の将来像4（脱炭素社会の実現）」については、公共施設のZEB化を推進していきます。

「環境の将来像5（環境教育・協働の推進）」については、引き続き環境教育や啓発事業の実施を推進していきます。



綾瀬市地球温暖化対策実行計画

(区域施策編)

- 2023(令和5)年度～2032(令和14)年度 -

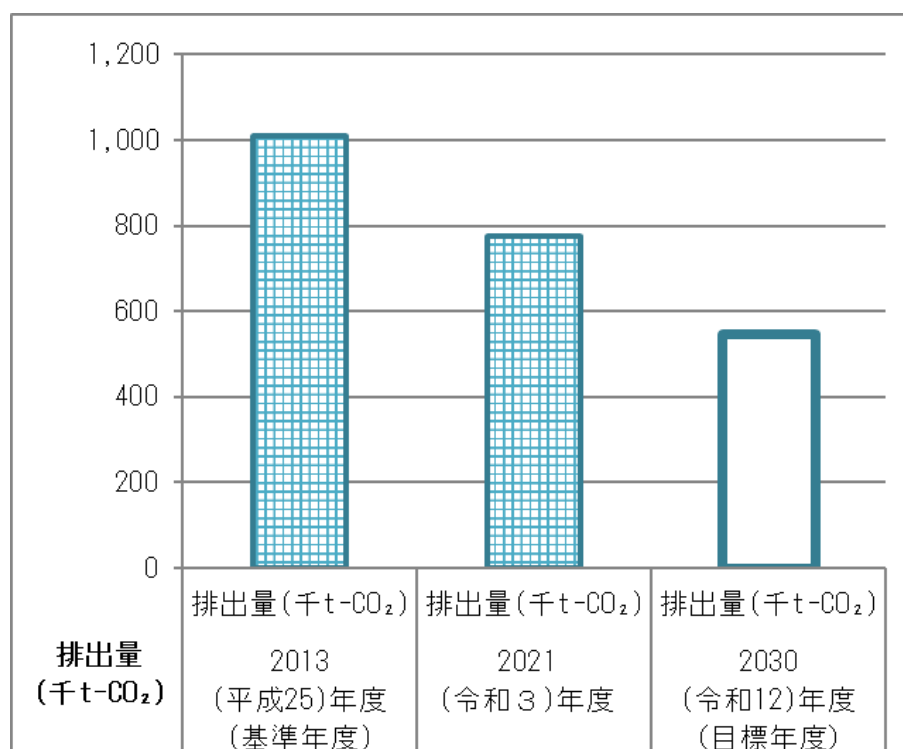
脱炭素社会の実現を目指して

※綾瀬市気候変動適応計画

2023(令和5)年度までの取組結果

温室効果ガス排出状況

年度	2013 (平成25)年度 (基準年度)	2021 (令和3)年度	2030 (令和12)年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)
排出量	1,010	777	545
基準年度比 (%)	—	△ 23.1	△ 46.0



1 綾瀬市地球温暖化対策実行計画(2013(平成25)年度～2032(令和14)年度)の概要

本計画は、2023(令和5)年8月に策定し、第3次綾瀬市環境基本計画の環境の将来像のひとつである、「脱炭素社会の実現」の部門計画として位置付けられ、本市からの温室効果ガス総排出量の削減目標と目標達成に向けた取り組み、気候変動の影響を回避・軽減するための取組、各主体の役割を定めるものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策実行計画の概要は以下のとおりです。

○**根拠法令** 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

○**計画の目的** 第3次綾瀬市環境基本計画に掲げる環境の将来像「脱炭素社会の実現」の実現を図る。

○**基準年度** 2013(平成25)年度

○**計画期間** 2023(令和5)年度～2032(令和14)年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第3次綾瀬市環境基本計画

(2023(平成5)年度～2032(令和14)年度)の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づ

く、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)とし、市内に発生源がほぼない4ガスは除外します。

○**基準年度(2013(平成25)年度)の温室効果ガス排出量** 101万t-CO₂

○**削減目標** 温室効果ガス排出量を2030(令和12)年度までに

46万5千t-CO₂(約46%)削減

(2030(令和12)年度温室効果ガス排出量目標：54万5千t-CO₂)

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、2023(令和5)年度取組結果のデータは、2021(令和3)年度排出量となります。

3 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出状況

本計画では、2030(令和12)年度の削減目標として、基準年度(2013(平成25)年度)をベースに、温室効果ガス排出量を約46万5千t-CO₂(約△46%)削減し、54万5千t-CO₂以下にすることを目指しています。

本市区域の2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量の推計結果は77万7千t-CO₂となり、基準年度(2013(平成25)年度)と比較すると、約23万3千t-CO₂、23.1%の減少となりました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO₂)

温室効果ガス種・部門など		基準年度 2013 (平成25)年度	2014 (平成26)年度	2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	基準年比	
											増減量	増減率
二酸化炭素 (エネルギー 起源(間接 排出量))	製造業	645	597	533	490	483	463	414	408	472	-173	-26.8%
	建設業・鉱業	7	6	6	6	5	5	4	6	5	-2	-28.6%
	農林水産業	4	5	6	7	8	5	5	6	2	-2	-50.0%
	小計	656	608	545	503	496	473	423	420	479	-177	-27.0%
	家庭部門	127	105	89	95	86	93	87	101	89	-38	-29.9%
	業務部門	99	110	110	96	83	82	87	79	90	-9	-9.1%
	運輸部門	119	116	118	117	117	119	115	102	108	-11	-9.2%
	小計	1001	939	862	811	782	767	712	702	766	-235	-23.5%
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	6	6	6	6	6	6	7	6	8	2	33.3%
	二酸化炭素(CO ₂)排出量 計	1,007	945	868	817	788	773	719	708	774	-233	-23.1%
その他のガス(CH ₄ 、N ₂ O、HFC)計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0.0%
温室効果ガス 計		1,010	948	871	820	791	776	722	711	777	-233	-23.1%
人口(人)		83,828	83,990	84,460	84,427	84,139	84,229	83,317	83,913	83,317	-511	-0.6%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO ₂ /人)		12.0	11.3	10.3	9.7	9.4	9.2	8.6	8.4	9.3	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /人)		12.0	11.3	10.3	9.7	9.4	9.2	8.7	8.5	9.3	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO₂としていますので、合計が合わないことがあります。
※統計資料の修正などにより、過去の環境報告書と数値が異なるものがあります。

また、国全体での2020(令和2)年度の温室効果ガス排出量について、環境省では次のように考察しています。¹

- ・温室効果ガスの総排出量は、2020(令和2)年度比で2.0%の増加となった。
- ・前年度と比べて排出量が増加した要因としては、新型コロナウイルス感染症に起因する経済停滞からの回復により、エネルギー消費量が増加したことが主な要因と考えられる。

¹ 「2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量(確報値)について」環境省HPより抜粋

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門 61.9%、家庭部門 11.5%、業務部門 11.6%、運輸部門 14.0%、廃棄物部門 1.0%となりました。

基準年度と比較すると、産業部門、家庭部門、業務部門、運輸部門の二酸化炭素排出量は減少していますが、廃棄物部門の排出量は増加しています。

部門別二酸化炭素排出量の変動

(単位:千t-CO₂)

部門	基準年度 2013 (平成25)年度		2014 (平成26)年度		2015 (平成27)年度		2016 (平成28)年度		2017 (平成29)年度		2018 (平成30)年度		2019 (令和元)年度		2020 (令和2)年度		2021 (令和3)年度		基準年比		目標年度 2030 (令和12)年度	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	656	65.1%	608	64.3%	545	62.8%	503	61.6%	496	62.9%	473	61.2%	423	58.8%	420	59.3%	479	61.9%	-177	-27.0%	411	58.1%
家庭部門	127	12.6%	105	11.1%	89	10.3%	95	11.6%	86	10.9%	93	12.0%	87	12.1%	101	14.3%	89	11.5%	-38	-29.9%	83	11.7%
業務部門	99	9.8%	110	11.6%	110	12.7%	96	11.8%	83	10.5%	82	10.6%	87	12.1%	79	11.2%	90	11.6%	-9	-9.1%	87	12.3%
運輸部門	119	11.8%	116	12.3%	118	13.6%	117	14.3%	117	14.8%	119	15.4%	115	16.0%	102	14.4%	108	14.0%	-11	-9.2%	119	16.8%
廃棄物部門	6	0.6%	6	0.6%	6	0.7%	6	0.7%	6	0.8%	6	0.8%	7	1.0%	6	0.8%	8	1.0%	2	33.3%	7	1.0%
合計	1,007	100.0%	945	100.0%	868	100.0%	817	100.0%	788	100.0%	773	100.0%	719	100.0%	708	100.0%	774	100.0%	-233	-23.1%	707	100.0%

※数値は四捨五入して千t-CO₂としていますので、合計が合わないことがあります。
※統計資料の修正などにより、過去の環境報告書と数値が異なるものがあります。

●産業部門

電力の低炭素化（再エネ拡大）や、工業統計に基づく製造品出荷額が、3,545億円（2021(令和3)年度）と減少していることから、生産活動の縮小などが、二酸化炭素排出量減少の要因として考えられます。

●家庭部門

電力の低炭素化（再エネ拡大）に伴い、電力由来の二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

●業務部門

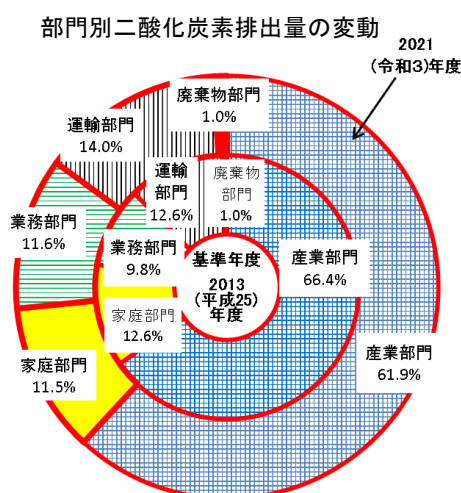
電力の低炭素化（再エネ拡大）に伴い、電力由来の二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

●運輸部門

燃費の改善などにより二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、2005(平成17)年度から環境保全対策補助事業を、2006(平成18)年度からあやせエコっと21を実施し、この2事



業を中心に第3次綾瀬市環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。（啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」参照）

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助（再生可能エネルギーの導入）における二酸化炭素排出削減量を2024（令和6）年度3,012t-CO₂に設定しています。2023（令和5）年度の削減量は、3,242t-CO₂となり、計画目標達成率は108.8%となりました。

再生可能エネルギーの導入	対象	対象数		設定	削減見込量
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続	全対象数	計画での予定対象数	導入率（%）	（t-CO ₂ /年）
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	2011→2023年度までの予定対象数	1,900 軒	100 %	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設置補助	共同住宅	2011→2023年度までの予定対象数	30 軒	100 %	50
3) 事業所用太陽光発電設置補助	事業所	2011→2023年度までの予定対象数	30 件	100 %	160
					2,980

			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362	2,220,934	2,282,955	2,317,954	2,412,075	2,595,513	2,700,628
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118	17,708	22,122	21,602	24,080	24,619	24,619
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997	537,482	529,561	517,114	505,798	517,114	517,114
		計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	2,776,123	2,834,639	2,856,670	2,941,953	3,137,246	3,242,360
	達成率		91.8%	119.7%	144.7%	135.9%	128.9%	122.1%	114.7%	110.7%	111.0%	108.8%
2023年度：目標達成率			42.6%	66.3%	88.3%	90.6%	93.2%	95.1%	95.9%	98.7%	105.3%	108.8%

全環境保全対策補助事業及びあやせエコっと21家庭編により、2023（令和5）年度では、4,176t-CO₂の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉298,300本/年の植林効果（1本約14kg/年：関東森林管理局）に匹敵します。

また、人で試算すると2,042人分（1人年間1,838kg排出/年：温室効果ガスインベントリオフィス）の二酸化炭素排出量となります。

なお、2023（令和5）年度の取組結果は次のとおりとなりました。

〇 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が2017（平成29）年3月に策定した「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」に基づき行う。（東京電力エナジーパートナー㈱排出係数：0.457 kg-CO₂/kWh）

※2024（令和6）年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

※2013（平成25）年の排出係数で算定する方法から変更。

- (1) **環境保全対策補助事業**：太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取り組みにより、2023(令和5)年度では3,996.5 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

○太陽光発電設備設置補助金（個人住宅・共同住宅・事業所用）

2005(平成17)年度から開始した個人住宅用補助は、2023(令和5)年度までに1,440件で5909.47kW、2013(平成25)年度から開始した共同住宅用が8件で53.87kW及び事業所用が15件で1,131.54kW、合計7094.88kWとなりました。年間では、7,094.88MWh (7,094.88kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、3,242.3 t-CO₂ (7,094.88kW×1,000kWh×0.457 (東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh))の二酸化炭素が削減できました。

○家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助金（2013(平成25)年度から実施）

2013(平成25)年度から開始し、2023(令和5)年度までの累計は273台となり、363.0 t-CO₂ [273台×1,330kg-CO₂ (1台当たりの年間削減量)]の二酸化炭素が削減できました。

○電気自動車導入補助金（2011(平成23)年度から実施）

2011(平成23)年度から開始し、2023(令和5)年度までの累計は210台となり、1kWh(1ℓ)当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約391.2 t-CO₂ [(210台×10,000km÷10km/ℓ×2.29 (ガソリン排出係数)) - (210台×10,000km÷10km/kWh×0.457 (東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh))]の二酸化炭素が削減できました。

○雨水貯留槽設置補助金

(2005(平成17)年度から2016(平成28)年度まで実施)

2005(平成17)年度から開始し、2016(平成28)年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました(2016(平成28)年度で制度終了)。

☆ 住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2005～2014	912	3,346.17
2015 (H27)	98	424.59
2016 (H28)	83	387.65
2017 (H29)	57	243.57
2018 (H30)	54	273.67
2019 (R1)	40	202.46
2020 (R2)	41	194.00
2021 (R3)	59	324.03
2022 (R4)	55	283.32
2023 (R5)	41	230.01
合計	1,440	5,909.47

☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
2013～2014	39
2015 (H27)	23
2016 (H28)	26
2017 (H29)	51
2018 (H30)	29
2019 (R1)	20
2020 (R2)	38
2021 (R3)	14
2022 (R4)	16
2023 (R5)	17
合計	273

☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2012～2014	4	21.96
2015 (H27)	1	9.26
2016 (H28)	1	6.06
2019 (R1)	1	9.99
2021 (R3)	1	6.60
合計	8	53.87

☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
2011～2014	48
2015 (H27)	13
2016 (H28)	12
2017 (H29)	15
2018 (H30)	12
2019 (R1)	16
2020 (R2)	9
2021 (R3)	9
2022 (R4)	31
2023 (R5)	45
合計	210

☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2012～2014	8	108.85
2016 (H28)	5	998.10
2017 (H29)	1	8.27
2018 (H30)	1	16.32
合計	15	1,131.54

☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
2005～2014	107	16,154
2015 (H27)	5	1,100
2016 (H28)	5	785
2016年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン：家庭での節電など、環境に配慮した行動や取り組みを進めていくため、2013(平成25)年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選であやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、2014(平成26)年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

2023(令和5)年度は、この取り組み(節電・家電製品買換え・再配達防止・LED電球交換・食品ロス削減)により、合計で約4.2t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電コース

◇応募件数

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	497	280	248	214	120	187	58	89	53	86

期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できます。二酸化炭素削減量：2023(令和5)年度は、86件、3,755kWhの削減。これに、電気の二酸化炭素係数0.457(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh)を乗じて、節電で約1,716kg-CO₂の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

○家電製品買換えコース

◇応募件数

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	12	74	15	10	13	24	11	12	23

エアコン、冷蔵庫、テレビを消費電力が減少するものに買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。環境省の「しんきゅうさん：省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、二酸化炭素削減量は、約310kg-CO₂となりました(推計)。

○再配達防止コース

◇応募件数

年度	2019	2020	2021	2022	2023
件数	47	91	46	64	67

時間指定・受取場所指定等を実施した場合に応募できます。再配達1回あたり1.41kg-CO₂を排出したとすると、約94.4kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました（推計）

○LED電球交換コース

◇応募件数

年度	2020	2021	2022	2023
件数	39	15	20	17

LED電球を購入した場合に購入店に応じた口数の応募ができます。白熱電球（1日5～6時間点灯、108kWh/年）からLED電球（1日5～6時間点灯、15kWh/年）に交換し、使用した場合に約723kg-CO₂を削減できました。

（推計）

※(108kWh-15kWh)×17件=1,581kWh削減

1,581kWh×0.457排出係数=723kg-CO₂

（東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh）

○食品ロスコース

◇応募件数

年度	2022	2023
件数	1,356	1,067

令和4年度より新たに開始したコースです。市内店舗で値引きされた食料品5点で1口として応募できます。

食料品1点あたり0.25kg-CO₂を排出したとすると約1,334kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました（推計）

○節水コース：2016(平成28)年度を最後に廃止。

○レジ袋削減コース：2020(令和2)年度を最後に廃止。

(3) あやせエコっと21 (学童編) : 市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数291人。

(4) あやせエコっと21 (事業所編) : 43項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。

年度	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2017	2018	2019	2021	2022	2023	合計
新規登録	8	14	1	3	5	5	10	2	1	1	1	1	2	55
55 (累計登録件数) - 5 (辞退件数) = 50 (2023(令和5)年度末件数)														

6 今後の取り組み

第3次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しており、二酸化炭素排出量について基準年度(2013(平成25)年度)と比較したところ、産業部門、業務部門、運輸部門、家庭部門は全て減少していますが、廃棄物部門からの排出量は微増となりました。

その要因として一般廃棄物の増加等が考えられます。

引き続き、市民や市民団体、事業者等と連携し、省エネの実践に向けた意識啓発事業の実施や再エネ・省エネ設備等の活用を支援するとともに、「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21 (家庭編・学童編・事業所編)」を継続実施し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

また、上記のことだけでなく、2022年(令和4)年3月に表明したゼロカーボンシティ実現に向け、太陽光発電設備設置などの取り組みも強化する必要があります。

第4次

綾瀬市地球温暖化対策実行計画

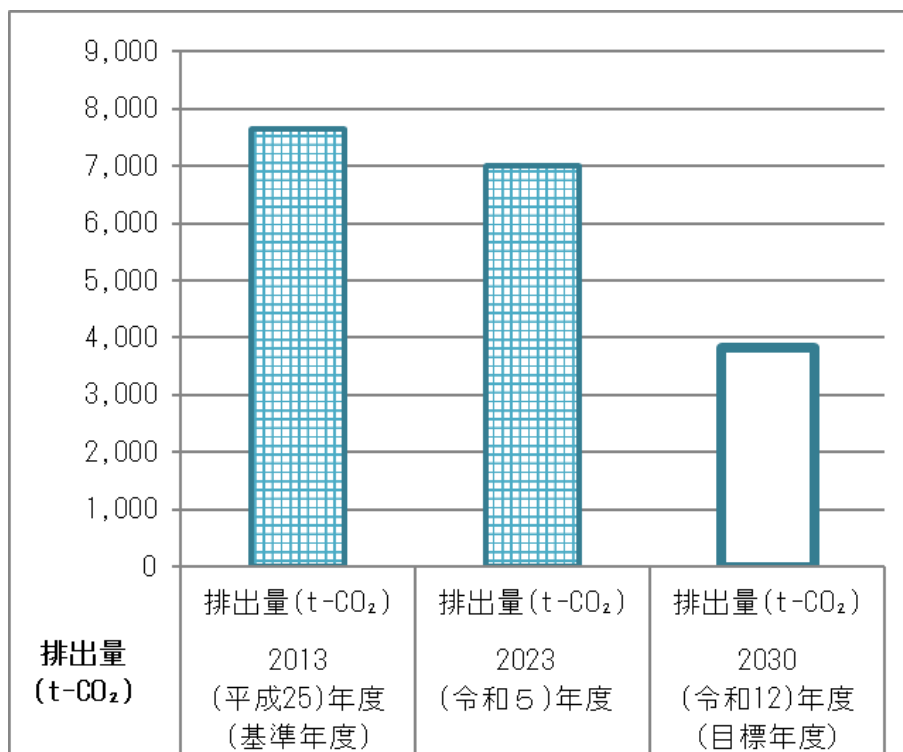
(事務事業編)

取組結果(2023(令和5)年度実績)

※市公共施設等の温室効果ガス削減計画

温室効果ガス排出状況

年度	2013 (平成25)年度 (基準年度)	2023 (令和5)年度	2030 (令和12)年度 (目標年度)
	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)
二酸化炭素 排出量	7,645	7,001	3,822
基準年度比 (%)	—	△ 8.4	△ 50.0



1 第4次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

（2023（令和5）年度～2030（令和12）年度）の概要

本計画は、第1次実行計画（2010（平成22）年度～2014（平成26）年度）及び第2次実行計画（2015（平成27）年度～2019（令和元）年度）、第3次実行計画（2020（令和2）年度～2023（令和5）年度）を受け、第4次実行計画として2023（令和5）年8月に策定し、綾瀬市行政の全ての事務事業（公共施設等）から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第4次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

○根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

○計画の目的 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

○基準年度 2013（平成25）年度

○計画期間 2023（令和5）年度～2030（令和12）年度

○目標年度 2030（令和12）年度

○計画の位置づけ 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第3次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

○対象事務事業 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

○対象温室効果ガス 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕

○基準年度（2013（平成25）年度）の二酸化炭素排出量 7,645 t-CO₂

○削減目標 二酸化炭素排出量を2030（令和12）年度までに、
2013（平成25）年度比△50%

【温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標】

	2013（平成25）年度	2030（令和12）年度	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	7,645	3,822	3,823
平成25年度比（%）	—	50	50

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が 2017(平成 29)年 3 月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※2013(平成 25)年の排出係数で算定する方法から変更。

2 2023(令和 5)年度 of 取組状況の把握方法

綾瀬市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、各施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 2023(令和 5)年度 of 二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、2030(令和12)年度までに、2013(平成25)年度比 50%削減とされていますが、2023(令和 5)年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,001 t-CO₂となり、基準年度（2013(平成25)年度）と比較すると、644 t-CO₂減少（8.4%減少）という結果になりました。

2013(平成 25)年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,645 t-CO ₂
2023(令和 5)年度の二酸化炭素排出量	: 7,001 t-CO ₂
基準年度に対する増減率	: △8.4%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		2023(令和5)年度				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,117,933	kWh	0.018~0.556	5,463,048	kg-CO ₂
燃料の使用	ガソリン	56,256	L	2.29	128,826	
	灯油	46,783		2.50	116,958	
	軽油	67,006		2.62	175,555	
	A重油	0		2.75	0	
	液化石油ガス (LPG)	3,702	m ³	6.54	24,210	
	都市ガス (13A)	532,056		2.05	1,090,715	
	天然ガス (CNG)	714		1.96	1,399	
合 計					7,000,712	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年度（2013(平成 25)年度）と、2023(令和 5)年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照 P 4 1 ～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目		燃料等の使用量			二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)				種類別割合 2023 (R5) 年度	
		単位	基準年度 2013 (H25) 年度	2023 (R5) 年度	基準年度 2013(H25) 年度		2023(R5) 年度			対基準年 度増減率
					排出係数	排出量	排出係数	排出量		
電気の使用	東京電力(株)	kWh	6, 532, 590	237, 092	0. 531	3, 468, 805	0. 438	103, 846	-0. 8%	78. 0%
	東京電力エナジー パートナー(株)		-	9, 969, 277	-	-	0. 457	4, 555, 960		
	昭和シェル石油(株)		1, 427, 493	-	0. 377	538, 165	-	-		
	(株)エネット		3, 547, 870	0	0. 423	1, 500, 749	0. 000	0		
	リエスパワー(株)		-	727, 991	-	-	0. 463	337, 060		
	ミツコグリーンエネルギー(株)		-	17, 582	-	-	0. 352	6, 189		
	ゼロワットパワー(株)		-	0	-	-	0. 036	0		
	(株)V-Power		-	0	-	-	0. 371	0		
	東京ガス(株)		-	1, 188, 613	-	-	0. 387	459, 993		
小 計		11, 507, 953	12, 140, 555	-	5, 507, 719	-	5, 463, 048			
燃料の使用	ガソリン	L	65, 788	56, 256	2. 32	152, 627	2. 29	128, 826	-15. 6%	1. 8%
	灯油		235, 061	46, 783	2. 49	585, 302	2. 50	116, 958	-80. 0%	1. 7%
	軽油		68, 630	67, 006	2. 58	177, 066	2. 62	175, 555	-0. 9%	2. 5%
	A重油		146, 200	0	2. 71	396, 202	2. 75	0	-100. 0%	0. 0%
	液化石油ガス(LPG)	m ³	5, 837	3, 702	6. 54	38, 174	6. 54	24, 210	-36. 6%	0. 3%
	都市ガス(13A)		352, 288	532, 056	2. 23	785, 602	2. 05	1, 090, 715	38. 8%	15. 6%
	天然ガス(CNG)		900	714	2. 22	1, 998	1. 96	1, 399	-30. 0%	0. 0%
	小 計		-	-	-	2, 136, 971	-	1, 537, 664	-28. 0%	22. 0%
合 計		-	-	-	7, 644, 690	-	7, 000, 712	-8. 4%	100. 0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率＝(2023年度CO₂排出量－基準年度CO₂排出量)÷基準年度CO₂排出量×100

※種類別割合＝各燃料の2023年度CO₂排出量÷2022年度CO₂総排出量×100

電気について、契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることにより、二酸化炭素排出量は基準年度比0.8%減少しました。

燃料の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比28.0%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の空調設備のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、排出量は基準年度比でA重油100%、液化石油ガス(LPG)36.6%、灯油は80.0%、ガソリンは15.6%それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換などに伴い、都市ガスの排出量が38.8%増加しましたが、都市ガスはA重油よりも二酸化炭素排出係数が低いエネルギー源となっております。

5 今後の取り組み

2023(令和5)年度において、二酸化炭素排出量 2013(平成25)年度(基準年度)比 8.6%の削減を達成しました。目標を上回った要因としては、施設の高効率設備への更新や、契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることなどが挙げられます。

国は2050年カーボンニュートラルを宣言し、脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策推進法の改正や政府が事務事業に関し温室効果ガスの排出抑制等のため実行すべき措置について定める計画(政府実行計画)の改訂を行いました。

また、市は2022(令和4)年3月にゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。

脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素の排出量を減少させていくためには、引き続き、高効率設備への更新や再エネ設備の導入を推進していく必要があります。

**あやせの緑と水をみんなで育み環境負荷のない暮らしを实践し持続可能なまちづくりを進める
令和5年度 環境指標結果**

環境の将来像1

7指標

○	指標
△	指標
×	指標

※ 多様な生きものが生息し、豊かな緑と水が身近に感じられるまち

基本目標 ① 生物多様性の保全～カワセミなど多様な生きものが生息するまち～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
1	1	緑による生きものの生息・生育環境の確保	継続	継続	継続	△
2	2	特定外来生物対策の推進	継続	継続	継続	○

基本目標 ② 緑と水辺環境の保全～ホテルが飛び親しめるまち～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
3	3	緑地の確保	479.15ha(2030)以上	434.3ha以上	408.58ha	△
4	4	市民一人当たりの都市公園の面積	8.3㎡(2030)以上	8.1㎡以上	7.00㎡	△

基本目標 ③ 農地と里地里山の保全～田園と富士山、大山の景観～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
5	5	農用地面積	132ha以上の維持	132ha以上の維持	148ha	○
6	6	市内農業体験農園利用	年300人以上	年300人以上	247人	△
7	7	地産地消の意味を知っている人の割合	80%(2027)以上	70%以上	65.4%	△

環境の将来像2

10指標

○	指標
△	指標
×	指標

※安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち

基本目標 ① 大気環境の保全

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
8	1	大気汚染に係る環境基準	光化学オキシダントを除く 各項目とも環境基準値以 内	光化学オキシダントを除く 各項目とも環境基準値以 内	光化学オキシダントを除く各 項目とも環境基準値以内	○
9	2	有害大気汚染物質に係る 環境基準	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも環境基準値以 内	○
10	3	ダイオキシン類に係る 環境基準	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも環境基準値以 内	○

基本目標 ② 水質環境及び土壌の保全

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
11	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	各項目とも概ね環境基準 値以内	各項目とも概ね環境基 準値以内	各項目とも概ね環境基準 値以内	○
12	5	地下水の水質汚濁に係る 環境基準	各項目とも概ね環境基準 値以内	各項目とも概ね環境基 準値以内	各項目とも概ね環境基準 値以内	○
13	6	ダイオキシン類に係る 環境基準	各項目とも概ね環境基準 値以内	各項目とも概ね環境基 準値以内	各項目とも概ね環境基準 値以内	○
14	7	生活排水処理率	99.8%(2027)以上	97.9%	99.7%	○

基本目標 ③ 騒音・振動への対応～航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまち～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
15	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準値以内	環境基準値以内	調査実施	○
16	9	騒音に係る環境基準	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも環境基準値以 内	各項目とも概ね環境基準 値以内	○

基本目標 ④ 環境美化活動の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
17	10	美化キャンペーンの実施	年1回	年1回	1回実施(5月28日)	○

環境の将来像3	6指標
----------------	-----

○	指標
△	指標
×	指標

※ごみの減量化や3Rを進め、資源を大切に利用するまち

基本目標 ① 廃棄物の発生・排出抑制・適正処理

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
18	1	1人1日当たりの家庭系ごみ量	607g/人・日(2027)以下の 継続	639.3(g/人日)	595(g/人日)	○
19	2	事業系ごみ量	2,562t(2027)以下	3,395(t/年)	3,836(t/年)	△
20	3	焼却処理されるごみ量	14,000t(2027)以下	17,231(t/年)	16,788(t/年)	△
21	4	1人1日あたりの家庭系可燃ごみ量	357g/人・日(2027)以下	429.8(g/人日)	410(g/人日)	△
22	5	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買い すぎなどに気をつけている人の割合	90%(2027)以上	90%	72.30%	△

基本目標 ② 廃棄物の資源化の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
23	6	リサイクル率	40%(2027)以上	32%	29.5	△

環境の将来像4	6指標
----------------	-----

○	指標
△	指標
×	指標

※脱炭素の実現に向けて、みんなで省エネや創エネに取り組むまち

基本目標 ① 気候変動緩和策の推進～再生可能エネルギーの活用～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
24	1	設置可能な市有施設(敷地含む)への太陽 光発電設備設置割合	50%(2030)以上	推進	推進	△
25	2	太陽光発電システム補助による導入容量	9,331kW以上	7,081kW以上	5909kW	△

基本目標 ② 気候変動緩和策の推進～省エネルギー化などの推進～

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
26	3	綾瀬市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)における温室効果ガス排出量:2013(H25)年度比	46%削減(2030)	推進	推進	△
27	4	綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における温室効果ガス排出量:2013(H25)年度比	50%削減(2030)	推進	推進	△
28	5	電気自動車購入補助件数	(累計)244件	(累計)154件	210件	○

基本目標 ③ 気候変動適応策の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
29	6	総合防災訓練の実施	年1回	年1回	1回	○

環境の将来像5	7指標
---------	-----

○	指標
△	指標
×	指標

※子どもから大人までみんなで環境を学び、活躍する人が育つまち

基本目標 ① 環境教育の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
30	1	環境啓発事業の実施	継続	継続	継続	○
31	2	あやせエコっと21学童編(応募者数)	(累計)2,000人以上	(累計)1,100人以上	1,292人	○

基本目標 ② 環境保全活動の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
32	3	あやせ環境展の実施	年1回	年1回	1回実施(11月26日)	○
33	4	あやせエコっと21家庭編(応募者数)	(累計)10,412件以上	(累計)5,912件以上	(累計)7,677件	○

基本目標 ③ 事業所における環境保全活動の推進

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
34	5	あやせエコっと21事業所編(登録事業所)	100事業所以上	55事業所	51事業所 (5年度:2事業所追加)	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信

		指標(成果指標)の例	令和14年度 目標値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	評価
35	6	環境報告書の発行	年1回	年1回	年1回	○
36	7	環境情報の発行	年1回	年1回	年1回	○

【 資料編 】

(2) 第1期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像 1					総合評価	
多様な生きものが生息し、豊かな緑と水が身近に感じられるまち (自然共生社会の実現)						
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						
総合評価は、◎8項目、△2項目となりました。					◎	8
					○	0
					△	2
					×	0
基本目標 ① 生物多様性の保全～カワセミなど多様な生きものが生息するまち～					評価	
全2項目のうち、◎2項目となりました。					◎	2
					○	0
					△	0
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1)生物多様性への理解を増進し、外来生物対策を進めます						
1	1	生態系被害防止外来種の 情報収集	情報収集	R05：県計画の情報収集		◎
			◎			
方針(2)生きものを育む環境を保全します						
2	2	蟹ヶ谷公園の湿生園の保全	保全	R05：菖蒲の株分け・清掃を実施し湿生園の保 全を行った		◎
			◎			
基本目標 ② 緑と水辺の環境保全～ホテルが飛び親しめるまち～					評価	
全3項目のうち、◎2項目、△1項目となりました。					◎	2
					○	0
					△	1
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1)緑地や水辺環境などの自然環境を保全します						
3	1	緑地保全地区の確保	緑地保全協定の 締結に努める	R05：緑地保全協定を継続（40箇所）		◎
			◎			
方針(2)緑地の保全などによる環境に配慮したまちづくりを進めます						
4	2	生垣奨励事業の推進	啓発年1回以上	R05：広報あやせで周知を実施（8/1号）		◎
			◎			
5	3	市民参画による緑化活動 及び維持管理の推進	実施計画に基づ いて推進	R05：都市公園の公園愛護会普及率33.8%		△
			△			

基本目標③ 農地と里地里山の保全～田園と富士山、大山の景観～					評価	
全5項目のうち、◎4項目、△1項目となりました。					◎	4
					○	0
					△	1
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1)農地の保全と活用を進めます						
6	1	若手農業者、新規就農者の確保	年1人以上	R05：2人	◎	
			◎			
7	2	利用集積の拡大事業	実施計画に基づいて推進	R05：98件	◎	
			◎			
8	3	市民ふれあい農園の整備	6箇所以上の維持	R05：市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営	◎	
			◎			
9	4	農家の労働力不足の解消を目的とした援農ボランティア養成事業	実施計画に基づいて推進	R05：援農ボランティア受講者4名、援農ボランティア派遣者330名	△	
			△			
方針(2)里地里山と景観を保全します						
10	5	景観形成重点地区の指定に向けた事業の検討	検討	R05：良好な景観形成の推進	◎	
			◎			
環境の将来像 2 安全で衛生的な環境が保全され、健やかに暮らせるまち (生活環境の保全) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×					総合評価	
総合評価は、×1項目となりました。					◎	0
					○	0
					△	0
					×	1
基本目標 ① 大気環境の保全					評価	
行動内容は設定しない。						
基本目標 ② 水質環境及び土壌の保全						
全1項目のうち、×1項目となりました。					◎	0
					○	0
					△	0
					×	1

行動内容			5年度目標 ／評価	取組実績	評価	
方針(1) きれいな河川を守ります						
11	1	合併浄化槽整備補助金	実施計画に基づいて推進	R05：0件	×	
			×			
基本目標 ③ 騒音・振動への対応～航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまち～					評価	
行動内容は設定しない。						
基本目標 ④ 環境美化活動の推進					評価	
行動内容は設定しない。						
環境の将来像 3 ごみの減量化や3Rを進め、資源を大切に利用するまち (循環型社会の実現) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」					総合評価	
総合評価は、◎6項目、△2項目となりました。					◎	6
					○	0
					△	2
					×	0
基本目標 ① 廃棄物の発生・排出抑制・適正処理					評価	
全3項目のうち、◎3項目となりました。					◎	3
					○	0
					△	0
					×	0
行動内容			5年度目標 ／評価	取組実績	評価	
方針(1) リデュースを進めます						
12	1	生ごみ処理容器購入費助成	年30基以上	R05：160基	◎	
			◎			
方針(2) 廃棄物の適正処理と情報発信をします						
13	2	プラスチック資源循環に向けた事業の検討	研究	R05：先進自治体取組例の調査研究	◎	
			◎			
14	3	中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上	R05：ダイオキシン類等排ガス測定実施	◎	
			◎			
基本目標 ② 廃棄物の資源化の推進					評価	
全5項目のうち、◎3項目、△2項目となりました。					◎	3
					○	0
					△	2
					×	0

行動内容			5年度目標 ／評価	取組実績	評価
方針(1) リユースやリサイクルを進めます					
15	1	ツカエルフェアの開催	年2回以上 ◎	R05 : 4 回	◎
16	2	ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上 ◎	R05 : 86%	◎
17	3	木製家具等のRPF化※ RPF:Refuse Derived Fuel （廃棄物固形燃料）	RPF化可能なもの100%実施 ◎	R05 : 布団RPF化9,620kg、木製家具RPF化130,700kg、合計約141 t	◎
18	4	可燃ごみ混入雑がみ等分別袋配付事業	実施計画に基づいて推進 △	R05 : 532 t	△
19	5	可燃ごみ収集等効率化事業（草木等の資源化による可燃ごみの減量化）	実施計画に基づいて推進 △	R05 : 332t	△

環境の将来像 4 脱炭素の実現に向けて、みんなで省エネや創エネに取り組むまち（脱炭素社会の実現） ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」				総合評価	
総合評価は、◎25項目、△2項目、×1項目となりました。				◎	25
				○	0
				△	2
				×	1
基本目標① 気候変動緩和策の推進～再生可能エネルギーの活用～				評価	
全7項目のうち、◎5項目、△2項目となりました。				◎	5
				○	0
				△	2
				×	0
行動内容			5年度目標 ／評価	取組実績	評価
方針(1) 住宅や事業所における再生可能エネルギー導入を進めます					
20	1	太陽光発電等補助制度の実施（個人住宅用、共同住宅用、事業所用太陽光）	実施計画に基づいて推進 △	R05 : 太陽光発電補助実施件数41件、二酸化炭素排出削減量149,500kg	△
21	2	中小企業脱炭素化促進奨励金	実施計画に基づいて推進 △	R05 : 4件	△
22	3	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集 ◎	R05 : 情報収集を実施	◎

方針(2) 公共施設への再生可能エネルギー導入を率先します

23	4	太陽光発電設備設置事業の推進	推進	R05：光綾公園管理棟太陽光設備設置工事が完了	◎
			◎		
24	5	ソーラーカーポート設置事業	実施計画に基づいて推進	R05：令和5年7月22日～令和6年1月31日の履行期間で実施	◎
			◎		
25	6	光綾公園管理棟太陽光設備設置工事	実施計画に基づいて推進	R05：太陽光設備設置工事完了	◎
			◎		
26	7	綾瀬終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガス発電事業	実施計画に基づいて推進	R05：令和5年度末に竣工した	◎
			◎		

基本目標② 気候変動緩和策の推進～省エネルギー化などの推進～

評価

全16項目のうち、◎15項目、×1項目となりました。

◎	15
○	0
△	0
×	1

行動内容	5年度目標 評価	取組実績	評価
------	-------------	------	----

方針(1) 省エネルギーを進めます

27	1	スマートエネルギー設備導入補助	補助年70件以上	R05：83件	◎
			◎		
28	2	市内建築物の脱炭素化（ZEH化）推進事業	実施計画に基づいて推進	R05：令和6年度よりZEH補助金制度の導入を決定	◎
			◎		

方針(2) 地球環境に配慮したまちづくりを進めます

29	3	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買収	R05：用地買収に向けた準備を実施	◎
			◎		
30	4	歩道など歩行者空間の整備	推進	R05：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造）を含む工事を完了（市道911-4号線）	◎
			◎		

31	6	透水性舗装の推進	推進 ◎	R05：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造）を含む工事を完了（市道911-4号線）	◎
32	7	コミュニティバス運行の見直し検討業務	実施計画に基づいて推進 ◎	R05：新しい交通手段の調査及び検討を行い、運行計画（素案）の作成を行った	◎
33	8	バス乗り換え拠点の整備	駐輪場1箇所 ◎	R05：放置自転車の確認を行い、環境整備に努めた	◎
34	9	コミュニティバスの利用促進	啓発年1回以上 ◎	R05：各月の利用状況を公開し、利用啓発に努めた	◎
35	10	市道のバリアフリー化	推進 ◎	R05：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造）を含む工事を完了（市道911-4号線）	◎
36	11	自転車・歩行者道の整備	推進 ◎	R05：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造）を含む工事を完了（市道911-4号線）	◎
方針(3) 公共施設の省エネルギー化を率先します					
37	12	早川地区公共施設再編事業（ZEB Ready）	実施計画に基づいて推進 ◎	R05：（仮称）早川コミュニティ供用施設の実施設計が完了し、ZEB Ready認証を取得	◎
38	13	蓼川地区公共施設再編事業（ZEB Ready）	実施計画に基づいて推進 ◎	R05：ZEB Ready認証を取得した（仮称）蓼川コミュニティ供用施設の建設に向け、北の台地区センターの解体工事に着手	◎
39	14	もみの木園建替え事業（ZEB Ready）	実施計画に基づいて推進 ◎	R05：ZEB Ready認証を取得したもみの木園新園舎の建設に向け、補助事業（防衛）の申請を実施	◎
40	15	市役所の電気使用量の削減（平成25年度比）	2%削減 ×	R05：3.5%増	×
41	16	照明LED化の推進	推進 ◎	R05：研究を実施	◎
42	17	電気自動車の購入	実施計画に基づいて推進 ◎	R05：5台購入	◎

基本目標③ 気候変動適応策の推進					評価	
全5項目のうち、◎5項目となりました。					◎	5
					○	0
					△	0
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1) 気候変動適応策の推進						
43	1	気候変動に関する情報収集の実施	情報収集	R05：情報収集を実施	◎	
			◎			
44	2	オープンスペースの確保 (公園や緑地の整備・保全)	維持	R05：公園や緑地の保全を維持	◎	
			◎			
45	3	熱中症などに関する情報発信	随時	R05：アラート発令時の市民への周知、法律改正による研修・説明会等の実施	◎	
			◎			
46	4	防災ハザードマップの更新	実施計画に基づいて推進	R05：各家庭での備蓄率60%	◎	
			◎			
47	5	防災意識啓発	実施計画に基づいて推進	R05：防災訓練や講演会等の実施31回	◎	
			◎			
環境の将来像 5 子どもから大人までみんなで環境を学び、活躍する人が育つまち (環境教育・協働の推進)					総合評価	
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×						
総合評価は、◎37項目となりました。					◎	37
					○	0
					△	0
					×	0
基本目標① 環境教育の推進					評価	
全26項目のうち、◎26項目となりました。					◎	26
					○	0
					△	0
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1) 環境教育を進めることで、環境保全への意識を高めます						
48	1	地域社会における環境教育を担う人材への育成講座等に関する情報提供	随時	R05：随時実施	◎	
			◎			

49	2	発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	R05：3月にプログラム集を発行	◎
			◎		
50	3	学校等における環境問題が正しく理解できるよう発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	R05：2教材を用いての教育を毎月実施	◎
			◎		
51	4	プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	年1回以上	R05：プログラム集の配布	◎
			◎		
52	5	環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	年2教材以上	R05：環境教室、環境展で環境教育に関する教材を活用	◎
			◎		
53	6	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育園へ提供	年2園以上	R05：毎月環境保育について学ぶ時間を作り、保育士から環境についての様々な話をした（大上保育園）毎月環境保育の時間を設け、環境について興味を持ち、楽しみながら学べるようにした（綾南保育園）	◎
			◎		
54	7	自然（草花）やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	年2園以上	R05：捕まえた虫や魚を育てたり、花に水をあげるなどして、自然と触れる機会を設け、学ぶことができた（大上保育園）野菜や花の世話をしたり、育てた野菜の収穫をし、自然と触れる機会を通して興味や愛着を持たせることができた（綾南保育園）	◎
			◎		
55	8	地産地消の給食を導入する	年2園以上	R05：市内で採れた食材が給食に出た際は、子どもたちに綾瀬で採れたことを伝え、地産地消について伝えていった（大上保育園）市内で採れた野菜が給食に出た時には子どもに知らせ、親しみを感じられるようにした（綾南保育園）	◎
			◎		
56	9	水の大切さを学ぶ	年2園以上	R05：環境保育や普段の生活の中で、水の大切さなどを伝えていき、節水についての知識を伝えた（大上保育園）環境保育の中で水の大切さや節水について話す機会を作り、水の大切さや正しい使い方を学べるようにした（綾南保育園）	◎
			◎		
57	10	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	年2園以上	R05：掃除の時間を設けたり、落ちているごみを捨てるよう伝えていき、自分で拾う習慣をつけていった（大上保育園）保育室内や園庭にごみが落ちている時には自分で拾うよう声をかけ、身の回りの清掃を意識できるような関わりを行った（綾南保育園）	◎
			◎		
58	11	分別や資源の大切さを学ぶ	年2園以上	R05：環境保育の中でごみの分別の話をしたり、分別ゲームをして実際に分別をするなどして、分別について学んだ（大上保育園）保育室内ごみ箱は種類ごとにマークをつけ、ごみの種類について知らせる機会を作ったり、自分で分別をして捨てられるようにした（綾南保育園）	◎
			◎		

59	12	省エネ行動（節電・節水）を学ぶ	年2回以上 ◎	R05：水や電気の使い過ぎはもったいないことや、大切に使うことを伝えていった（大上保育園）水や電気には限りがあることを知らせ、必要に応じて使うことの大切さを知らせていった（綾南保育園）	◎
60	13	環境展等のイベントの実施	年6回以上 ◎	R05：あやせ環境展、あやせエコクラブ（通年・5回）、ソーラークッカーをつくろう、宮ヶ瀬ダム見学会、リサイクル現場学習会、エコクッキング、環境講演会	◎
61	14	体験学習等講座（教室）の実施	年6回以上 ◎	R05：あやせ環境展、あやせエコクラブ（通年・5回）、ソーラークッカーをつくろう、宮ヶ瀬ダム見学会、リサイクル現場学習会、エコクッキング	◎
62	15	生物多様性に係る情報の提供	年2回以上 ◎	R05：ホームページ及び広報あやせに掲載	◎
63	16	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	年2回以上 ◎	R05：エコクラブ自然観察会、環境講演会の実施	◎
64	17	市内の自然や緑に関する情報の提供	年1回以上 ◎	R05：桜特集ページを広報あやせに掲載	◎
65	18	ふれあい農業体験の実施	年1回以上 ◎	R05：9回実施	◎
66	19	地場農産物を活用した料理教室の実施	年1回以上 ◎	R05：5回実施	◎
67	20	食育講座等の実施	年1回以上 ◎	R05：栄養講話通年実施、食育教室、冬野菜の試食会等	◎
68	21	低公害車の普及・啓発事業の実施	年1回以上 ◎	R05：EV車の導入、あやせ環境展でエコドライブシミュレーターの実施	◎
69	22	エコドライブの啓発事業の実施	年1回以上 ◎	R05：EV車の導入、あやせ環境展でエコドライブシミュレーターの実施	◎
70	23	リデュース（ごみの発生抑制）の啓発	年3回以上 ◎	R05：おもちゃの病院24回、3R推進月間展示、あやせ環境展出展、高座SDGsフェスティバル展示、ツカエルフェア4回	◎
71	24	3Rの普及・啓発事業の実施	年4回以上 ◎	R05：おもちゃの病院24回、3R推進月間展示、あやせ環境展出展、高座SDGsフェスティバル展示、ツカエルフェア4回	◎

72	25	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	年4回以上 ◎	R05：環境教室、あやせ環境展（わくわくエコスクール、エネルギーキット工作教室）、環境講演会	◎
73	26	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	年2回以上 ◎	R05：環境教室、あやせ環境展の実施	◎

基本目標② 環境保全活動の推進

評価

全7項目のうち、◎7項目となりました。

◎	7
○	0
△	0
×	0

行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績	評価
方針(1) 各主体の自主的な環境配慮を進める				
74	1	ポイントを活用した市民による脱炭素の取組の推進 ◎	R05：情報収集を実施	◎
75	2	団体活動の支援 ◎	R05：ほたる保存会、ふるさと環境市民	◎
方針(2) 協働による環境保全活動を推進します				
76	3	環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施 ◎	R05：あやせ環境展（わくわくエコスクール、エネルギーキット工作教室）、環境教室、環境講演会の実施	◎
77	4	学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣 ◎	R05：あやせ環境展（わくわくエコスクール、エネルギーキット工作教室）、環境教室、環境講演会の実施	◎
78	5	市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備 ◎	R05：環境学習プログラム集を発行	◎
79	6	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体・事業所の協力 ◎	R05：12団体	◎
80	7	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施 ◎	R05：あやせ環境展、あやせエコクラブ（通年・5回）、ソーラークッカーをつくろう、宮ヶ瀬ダム見学会、リサイクル現場学習会、エコクッキング	◎

基本目標③ 事業所における環境保全活動の推進					評価	
全4項目のうち、◎4項目となりました。					◎	4
					○	0
					△	0
					×	0
行動内容		5年度目標 ／評価	取組実績		評価	
方針(1) 事業所の環境意識向上を進めます						
81	1	従業員向けの環境教育プログラムの提供	年1回	R05：環境学習プログラム集を発行	◎	
			◎			
82	2	事業所が実施する環境教育情報の提供	年1回	R05：環境学習プログラム集を発行	◎	
			◎			
83	3	事業所が取り組む環境活動の紹介	年1回以上	R05：綾瀬市環境報告書において紹介	◎	
			◎			
方針(2) 事業活動における環境対策を進めます						
84	4	事業所におけるEMS（エネルギーマネジメントシステム）導入の普及	啓発年1回以上	R05：HPに掲載	◎	
			◎			
基本目標④ 環境情報の整備と発信					評価	
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						

※環境指標から目標値を見直しています。

【資料編】(3)第4次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料 削減計画内訳達成度

施設名	2023(令和5)年度二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)								2023年度	2013年度	2013→2023年度比較	
	A重油	灯油	都市ガス	ガソリン	軽油	LPガス	天然ガス	電力	排出量	基準年度排出量	増減率%	増減量kg-CO ₂
本庁舎(公共資産課)	0	0	214,768	0	0	0	0	681,451	896,220	798,593	12%	97,627
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	19,217	0	0	0	0	12,641	31,857	23,436	35.9%	8,421
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	2,701	0	12,776	15,477	23,085	-33.0%	-7,608
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,583	2,583	3,300	-21.7%	-717
大上保育園(保育課)	0	0	31,714	0	0	0	0	21,915	53,628	49,406	8.5%	4,222
綾南保育園(保育課)	0	0	27,718	0	0	0	0	29,463	57,181	50,235	13.8%	6,946
旧保健医療センター	0	0	0	0	0	0	0	6,189	6,189	54,013	-88.5%	-47,824
寺尾児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	5	0	3,878	3,883	3,731	4.1%	152
小園児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	0	0	4,182	4,182	2,127	96.6%	2,055
ながつ児童館(子ども未来課)	0	0	3,696	0	0	0	0	7,572	11,268	6,226	81.0%	5,042
リサイクルプラザ	0	0	44,405	0	0	0	0	54,777	99,182	111,152	-10.8%	-11,969
市内公園(みどり公園課、スポーツ課)	0	0	0	147	0	239	0	90,810	91,196	170,269	-46.4%	-79,072
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	116,204	116,204	659,201	-82.4%	-542,998
道路補修(道路管理課)	0	0	0	0	0	131	0	0	131	767	-82.9%	-636
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	190	0	1,385,071	1,385,261	1,537,470	-9.9%	-152,209
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	57,729	57,729	84,917	-32.0%	-27,188
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	32,776	32,776	38,853	-15.6%	-6,077
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	730	730	25	2765.2%	705
消防本部(消防総務課)	0	0	4,867	0	0	0	0	108,573	113,439	81,994	38.4%	31,445
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	3,963	0	27,269	31,232	21,733	43.7%	9,499
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	3,826	0	38,075	41,901	43,116	-2.8%	-1,214
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,149	1,149	1,232	-6.8%	-83
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	4	0	1,040	1,044	1,493	-30.1%	-449
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	20	0	1,072	1,092	1,176	-7.2%	-84
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,169	1,169	1,095	6.7%	74
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	3	0	1,384	1,387	1,297	6.9%	90
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	5	0	994	1,000	1,389	-28.0%	-389
綾瀬小学校	0	45	67,623	43	0	0	0	190,589	258,301	118,574	117.8%	139,727
綾北小学校	0	1,473	0	115	0	29	0	92,309	93,925	62,757	49.7%	31,168
綾西小学校	0	485	75,221	123	0	49	0	106,842	182,719	112,918	61.8%	69,801
早園小学校	0	993	27	67	0	0	0	87,643	88,729	52,935	67.6%	35,794
綾南小学校	0	235	6	88	0	0	0	95,891	96,220	58,637	64.1%	37,583
天台小学校	0	430	21	46	0	0	0	116,132	116,629	57,800	101.8%	58,829
北の台小学校	0	190	0	66	0	20	0	89,972	90,248	152,139	-40.7%	-61,892
落合小学校	0	845	0	90	0	20	0	81,688	82,643	108,848	-24.1%	-26,205
土棚小学校	0	0	21	66	0	0	0	97,201	97,287	112,544	-13.6%	-15,256
寺尾小学校	0	390	0	69	0	29	0	97,778	98,266	119,919	-18.1%	-21,653
綾瀬中学校	0	107,253	0	319	0	180	0	119,498	227,250	158,650	43.2%	68,600
綾北中学校	0	855	0	93	0	69	0	169,692	170,709	229,196	-25.5%	-58,487
城山中学校	0	895	0	139	0	48	0	133,394	134,476	181,165	-25.8%	-46,689
北の台中学校	0	1,240	0	45	0	26	0	114,169	115,481	178,666	-35.4%	-63,185
春日台中学校	0	1,630	0	224	0	72	0	121,516	123,441	135,470	-8.9%	-12,028
学校給食センター	0	0	291,524	0	0	0	0	150,864	442,389	565,573	-21.8%	-123,184
教育支援教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,265	2,265	2,722	-16.8%	-457
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	0	0	0	0	0	0	960	960	2,732	-64.9%	-1,772
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	110,610	0	0	268	0	337,060	447,938	359,020	24.8%	88,918
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	139,162	0	0	0	0	352,821	491,983	509,667	-3.5%	-17,685
中村地区センター	0	0	0	0	0	0	0	11,852	11,852	18,429	-35.7%	-6,577
早園地区センター	0	0	0	0	0	0	0	4,721	4,721	5,462	-13.6%	-741
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	0	0	9,525	9,525	9,946	-4.2%	-421
綾南地区センター	0	0	0	0	0	0	0	10,617	10,617	31,940	-66.8%	-21,323
北の台地区センター	0	0	0	0	0	0	0	8,947	8,947	29,621	-69.8%	-20,675
寺尾いずみ会館	0	0	17,111	0	0	0	0	27,820	44,932	73,947	-39.2%	-29,016
南部ふれあい会館	0	0	42,497	0	0	0	0	34,086	76,582	74,040	3.4%	2,542
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	6,635	6,635	-	皆増	6,635
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,249	3,249	-	皆増	3,249
保健福祉プラザ	0	0	508	0	0	0	0	85,838	86,346	-	皆増	86,346
公共資産課管理公用車	0	0	0	58,439	11,407	0	0	0	69,846	99,243	-29.6%	-29,397
リサイクルプラザ管理公用車	0	0	0	5,177	117,663	12,313	1,399	0	136,551	131,021	4.2%	5,530
道路管理課管理公用車	0	0	0	3,521	9,843	0	0	0	13,364	17,721	-24.6%	-4,357
消防総務課管理公用車	0	0	0	59,952	36,643	0	0	0	96,596	81,394	18.7%	15,201
合計	0	116,958	1,090,715	128,826	175,555	24,210	1,399	5,463,048	7,000,712	7,644,690	-8.4%	-643,978

※・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

2013(平成25)年度比・2030(令和12)年度増減率(削減目標)	-50.0%
2030(令和12)年度総排出量(目標値)	3,822.

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.29

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	379	64	-315	880	147	-734	-83.3%
小学校10校	322	337	15	748	771	24	3.2%
中学校5校	181	358	177	419	819	400	95.3%
公用車	64,905	55,497	-9,408	150,580	127,089	-23,491	-15.6%
合計	65,788	56,256	-9,532	152,627	128,826	-23,801	-15.6%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.5

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (子ども未来課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	0	-243	605	0	-605	-100.0%
小学校10校	86,553	2,034	-84,519	215,517	5,085	-210,432	-97.6%
中学校5校	141,814	44,749	-97,065	353,117	111,873	-241,244	-68.3%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	0	-90	224	0	-224	-100.0%
地区センター2館	6,321	0	-6,321	15,739	0	-15,739	-100.0%
合計	235,061	46,783	-188,278	585,302	116,958	-468,344	-80.0%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.05

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (公共資産課)	116,784	104,765	-12,019	260,428	214,768	-45,660	-17.5%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	9,374	4,630	10,579	19,217	8,638	81.6%
大上保育園 (保育課)	8,916	15,470	6,554	19,883	31,714	11,831	59.5%
綾南保育園 (保育課)	10,293	13,521	3,228	22,953	27,718	4,765	20.8%
ながぐつ児童館 (子ども未来課)	285	1,803	1,518	636	3,696	3,061	481.6%
リサイクルプラザ	22,040	21,661	-379	49,149	44,405	-4,744	-9.7%
消防本部 (消防総務課)	-	2,374	2,374	-	4,867	4,867	皆増
小学校6校	47,733	69,716	21,983	106,445	142,918	36,473	34.3%
学校給食センター	-	142,207	142,207	-	291,524	291,524	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	53,956	18,818	78,358	110,610	32,252	41.2%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	67,884	-9,406	172,357	139,162	-33,195	-19.3%
寺尾いずみ会館	15,281	8,347	-6,934	34,077	17,111	-16,965	-49.8%
南部ふれあい会館	13,784	20,730	6,946	30,738	42,497	11,758	38.3%
保健福祉プラザ	-	248	248	-	508	508	皆増
合計	352,288	532,056	179,768	785,602	1,090,715	305,112	38.8%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.62

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園（みどり公園課、スポーツ課）	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	67,006	-1,505	176,759	175,555	-1,203	-0.7%
合計	68,630	67,006	-1,624	177,066	175,555	-1,510	-0.9%

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.75

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修（道路管理課）	200	0	-200	542	0	-542	-100.0%
学校給食センター	146,000	0	-146,000	395,660	0	-395,660	-100.0%
合計	146,200	0	-146,200	396,202	0	-396,202	-100.0%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：6.54

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園（障がい福祉課）	417	413	-4	2,727	2,701	-26	-1.0%
旧保健医療センター	56	0	-56	368	0	-368	-100.0%
児童館2館	16	1	-15	106	5	-101	-95.1%
市内公園（みどり公園課、スポーツ課）	0	37	37	0	239	239	-
道路補修（道路管理課）	75	20	-55	491	131	-360	-73.3%
浄水管理センター（下水道課）	47	29	-18	307	190	-118	-38.3%
消防本部（消防総務課）	1,644	0	-1,644	10,752	0	-10,752	-100.0%
消防北分署（消防総務課）	812	606	-206	5,312	3,963	-1,349	-25.4%
消防南分署（消防総務課）	712	585	-127	4,658	3,826	-833	-17.9%
分団6車庫（消防総務課）	10	5	-5	65	31	-33	-51.5%
小学校6校	54	23	-32	354	147	-207	-58.4%
中学校5校	124	61	-63	808	396	-412	-51.0%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	11,164	0	-11,164	-100.0%
適応指導教室（教育研究所）	2	0	-2	13	0	-13	-100.0%
文化財収蔵庫（生涯学習課）	2	0	-2	13	0	-13	-100.0%
市民スポーツセンター（スポーツ課）	46	41	-5	300	268	-32	-10.7%
地区センター5館	99	0	-99	645	0	-645	-100.0%
小計	5,823	1,819	-4,004	38,082	11,898	-26,185	-68.8%
公用車 ※	14	1,883	1,869	91	12,313	12,221	13381.6%
合計	5,837	3,702	-2,135	38,174	24,210	-13,963	-36.6%

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：1.96

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2023 (令和5) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	714	-186	1,998	1,399	-599	-30.0%
合計	900	714	-186	1,998	1,399	-599	-30.0%

【電力】

施 設 名	使用量 (kWh)		
	2013 (平成25)年度 (基準年度)	2023 (令和5)年度	対基準年度 増減量
本庁舎 (公共資産課)	1,427,493	1,491,141	63,648
綾北福祉会館 (福祉総務課)	24,213	27,660	3,447
もみの木園 (障がい福祉課)	41,119	27,957	-13,162
本蓼川墓園 (高齢介護課)	6,214	5,652	-562
大上保育園 (保育課)	55,600	47,954	-7,646
綾南保育園 (保育課)	51,378	64,470	13,092
旧保健医療センター	101,402	17,582	-83,820
児童館3館(こども未来課)	21,281	34,207	12,926
リサイクルプラザ	115,626	120,484	4,858
内訳		(105,537)	
		(14,947)	
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	318,421	198,710	-119,711
道路照明灯 (道路管理課)	1,241,434	254,275	-987,159
浄水管理センター (下水道課)	2,895,159	3,030,791	135,632
上土棚中継ポンプ場 (下水道課)	159,919	126,321	-33,598
マンホールポンプ (下水道課)	73,170	71,721	-1,449
流量計2基(下水道課)	48	1,598	1,550
消防本部 (消防総務課)	145,127	237,577	92,450
消防北分署 (消防総務課)	36,340	59,670	23,330
消防南分署 (消防総務課)	77,173	83,316	6,143
分団6車庫 (消防総務課)	14,410	14,898	488
小学校10校	1,499,289	2,315,234	815,945
内訳		(106,136)	
		(2,209,098)	
中学校5校	1,251,156	1,443,274	192,118
		(68,799)	
		(1,374,475)	
学校給食センター	310,342	331,141	20,799
内訳		(306,553)	
		(24,588)	
教育支援教室 (教育研究所)	5,115	4,956	-159
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	4,711	2,100	-2,611
市民スポーツセンター (スポーツ課)	528,294	727,991	199,697
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	911,525	114,100
内訳		(910,661)	
		(864)	
地区センター5館	149,460	117,988	-31,472
寺尾いずみ会館	75,086	71,887	-3,199
南部ふれあい会館	81,548	88,077	6,529
神崎遺跡資料館	-	14,519	14,519
綾西高齢者憩いの家	-	7,110	7,110
保健福祉プラザ	-	188,769	188,769
内訳		(166,147)	
		(22,622)	
合計	11,507,953	12,140,555	632,602

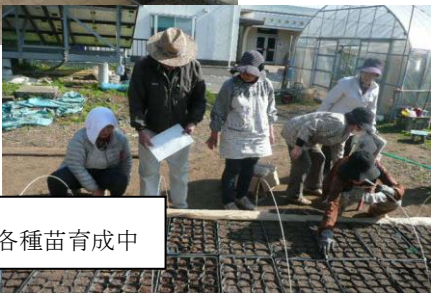
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)				
2013(平成25)年度(基準年度)			2023(令和5)年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量	電力事業者	排出係数	排出量		
昭和シェル石油(株)	0.377	538,165	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	681,451	143,287	26.6%
東京電力(株)	0.531	12,857			12,641	-216	-1.7%
		21,834			12,776	-9,058	-41.5%
		3,300			2,583	-717	-21.7%
		29,524			21,915	-7,609	-25.8%
		27,282			29,463	2,181	8.0%
		53,844	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.352	6,189	-47,656	-88.5%
		11,300	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	15,633	4,332	38.3%
東京電力(株)	0.531	61,397	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	54,777	-6,620	-11%
					(48,230)		
					(6,547)		
東京電力(株)	0.531	169,082	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	90,810	-78,271	-46.3%
		659,201			116,204	-542,998	-82.4%
		1,537,329			1,385,071	-152,258	-9.9%
		84,917			57,729	-27,188	-32.0%
		38,853			32,776	-6,077	-15.6%
		25			730	705	2765.2%
		77,062			108,573	31,510	40.9%
		19,297			27,269	7,973	41.3%
		40,979			38,075	-2,903	-7.1%
		7,652			6,808	-843	-11.0%
(株)エネット	0.423	634,199	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	1,056,045	421,846	67%
					(46,488)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.438	(1,009,558)		
(株)エネット	0.423	529,239	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	658,269	129,030	24.4%
					(30,134)		
					(628,135)		
東京電力(株)	0.531	164,792	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	150,864	-13,927	-8%
					(140,095)		
					(10,770)		
東京電力(株)	0.531	2,716	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	2,265	-451	-16.6%
		2,502	東京電力エナジーパートナー(株)		960	-1,542	-61.6%
		280,524	リエスパワー(株)	0.463	337,060	56,536	20.2%
(株)エネット	0.423	337,311	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	352,821		
					(352,426)		
					(395)		
東京電力(株)	0.531	79,363	東京ガス(株)	0.387	45,661	-33,702	-42.5%
東京電力(株)	0.531	39,871	東京ガス(株)	0.387	27,820	-12,050	-30%
	0.531	43,302		0.387	34,086	-9,216	-21%
-	-	-	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	6,635	6,635	皆増
-	-	-			3,249	3,249	皆増
-	-	-	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	85,838	85,838	皆増
					(75,929)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.438	(9,908)		
		5,507,719			5,463,048	-44,671	-0.8%

【 資料編 】

(4) 市民環境団体の活動報告 (50音順)

団体名	
あやせ環境ネットワーク	
団体の目的・令和5年度の活動概要	
【団体の活動目的】 第3次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。	  
【令和5年度の活動概要】 (団体会員13名、個人会員10名) 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施 ・小学生や親子向けの講座 (宮ヶ瀬ダム見学、親子リサイクル現場学習会、エコでグルメなクッキング) ・あやせエコクラブ ・あやせエコっと21	

団体名	
おもちゃ病院あやせ	
団体の目的・令和5年度の活動概要	
【団体の活動目的】 ・おもちゃの修理により SDGs12-5 の目標であるリユースを推進し、ごみの発生量を減らせるのではないかと考えて、おもちゃの修理に励んでおります。 ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る(地域参画) ・ドクターの技術向上と健康管理(生涯学習)	  おもちゃの修理を覗きこむ子どもたち 修理の受付の様子 (チャレンジボランティア体験中)
【令和5年度の活動概要】 24回の定期開院で、来客延べ人数516人 故障おもちゃの受付数212個(完治189個/治療不可23個 完治率89%) 受付おもちゃの分類は、乗り物(ラジコン/車/電車/飛行機)が合計78個、次いでぬいぐるみ37個・知育玩具20個でした。 不良原因の第一位は、電池ボックス・電池液漏れ・電池容量不足が合計69件ありました。 次いでパーツの破損・断線と続きます。 また、修理受付数の212の内綾瀬市以外の方が37個をお持ち下さいました。	

団体名	
あやせ緑普及会	
団体の目的・令和5年度の活動概要	
【団体の活動目的】 緑の苗育成と苗配布、C o 2 削減⇒ 継続活動（SDGs を目標に）エコ活動のただか継続中です。 尚 副産物での（実）お茶づくりをしています。（基本。参加者で話し合いながら作ります）	 配布用苗 C o 2 削減活動  配布用苗 各種苗育成中  育成 ビニールハウス 
【令和5年度の活動概要】 2012年発足 エコ活動で継続可能な活動でした・・・しかし年齢には勝てません。活動も現在ではあやせ環境ネットワークのお力を頂き継続しています。（植物も寒さにはかないませんね。温度・草むしりがあります） 嬉しい力を頂きました・・・又生活環境プロジェクトチームの力を頂ける運びに成ってきました事は続けられる見込みができました。活動は補助金を使わせて頂いています。エコ C O 2 削減活動への理解をおねがいします。 因みに ゴーヤ ナタマメ 風船かずら 朝顔 沖縄スズメうり 菊芋 等の副産物での茶づくり等 2023年度はコロナで活動停止（苗配布実施） 緑のカーテン用種取り（収穫）が5 昨年は見事に外れてしまった。5 年度用種が不足してしまいました。購入も高価です・・・苦肉の策で一般ご婦人よりネット購入にしました・・・結果苗の育成不良を加速したがなんとか配布できたことが今年の成果と判断しました。	

団体名

NPO法人ふるさと環境市民

団体の目的・令和5年度の活動概要

【団体の活動目的】

「考えは地球規模で行動は足元から」をモットーにSDGs、気候変動、マイクロプラスチックやごみ、食料、フードロスなどの問題に対して、楽しくわかりやすい環境学習全般、地域の川清掃などを通じて、ふるさとを愛する心を育てながら地球環境保全の啓発を目的としています。

【令和5年度の活動概要】

1、綾瀬市市民提案型協働事業

「バラ香る綾瀬のまちづくり

- ・バラのある風景写真コンテスト&表彰式
- ・講座「バラのある暮らしをもっとたのしみませんか」

2、綾瀬市きらめき補助金交付事業

綾瀬こども探検隊（*5月21日・磯の生き物を見つけよう。*7月2日・知ろう！見よう！川の生き物。9月3日・城山公園生き物調べ。*12月16日・ムササビ観察）

3、綾瀬市委託事業

- ・「お日様は力もちミニソーラークッカーをつくろう！」（7月26日 環境保全課）

- ・夏休み親子環境教室

「江戸時代のSDGsとゲームで学ぶSDGs」

4、あやせ環境展参加

～考えよう あやせの環境 未来へと～

5、環境講演会（綾瀬市と共催）



～気候危機に立ち向かう！今私たちがすべきこと～

(2024・1.28 講師 ペオ・エクベリ氏)

6、環境学習出前講座

・神奈川県との協働事業

「おもしろ博士と遊ぼう！見よう！考えよう！」地球環境を考える出前授業実施。

・相模原市立中野小学校・横浜市立上菅田特別支援学校

7、他団体との共催事業、視察、研修他

・「目久尻川クリーンアップ花いっぱい大作戦」5月、11月（綾西ふるさとクラブとの共催）

・目久尻川ふれあいウォーク（あやせ環境ネットワークとの共催）

・「ソーラークッカーで目玉焼きを作ってみよう！」（あやせ環境ネットワークとの共催）

・「食べ物から環境を考える～エコでグルメなクッキング～（あやせ環境ネットワークに協力）

・ローズフェスタに参加（城山公園）

・年間美化活動 目久尻川不法投棄監視、ウォッチング等



体名	
綾瀬城山ほたる保存会	
団体の目的・令和5年度の活動概要	
【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通じて、豊かな都市環境を創造するために活動しています。	
【令和5年度の活動概要】 ・生息地整備 ・ホタルガイド ・ホタル鑑賞会の開催 ・ボランティアの募集とスキルアップ ・行事参加による普及啓発 など	

ホタル生息地整備状況

体名	
落合キツツキの森管理委員会	
団体の目的・令和5年度の活動概要	
【団体の活動目的】 落合地区の森林を保全すると共に環境を整備する。市民の自然公園的なものとして維持管理をしています。	 
【令和5年度の活動概要】 ・散策路の維持管理。ウッドチップ敷きやロープ張り ・倒木・枯れ枝の処理 ・樹木・野草の調査保全、看板取り付けや雑草処理 ・環境展への参加	

【 資料編 】

(5) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼(株)	身近にある事から取り組んでいこうとは思いますが、やはり多々難しいこともあるようです。 鉄を切断する機械等には粉塵フィルターを装備してあるものを使用しています。 まずは社員一人一人の意識の向上を大切にすることが一番だと考えています。
第19-0003号 (株)ワイ・ケー電子	昨年度は、省エネやリサイクルを全員で共有し、大幅削減とはいきませんでしたが削減する事は出来ました。 今後も環境負荷低減活動を継続し、小幅削減でも諦めずに社員一丸となり地道に取り組んでまいります。
第19-0007号 (株)加藤工務店	昨年度に引き続き、事務所及び建築現場から出るごみの分別、低減化に努めました。国の省エネ住宅推進の補助金事業もあることから、お客様へエコ住宅設備を設置する新築工事・リフォーム工事をお勧めしました。 今後も環境に配慮した活動を続けてまいります。
第19-0008号 (株)ラテン大和	前年度に比べると売上回復しつつあり、生産量も増えました。それに伴い光熱費も増。 その中でどれだけ各使用量を減らしていけるかを課題に取り組みました。 遠方への出張も増えましたが、自動車移動を出来るだけ減らし、可能な限り公共交通機関の利用に切替えました。 社内の緑化に関しては、緑地はこれ以上増やせない為(スペースの問題)、ハーブ等定期的に種類変更して植えています。
第20-0002号 (株)メイコー	昨年度は、工場の管理指標となる数値の大幅な見直しもあり、原単位による目標管理設定が非常に厳しい年となりました。 また受注減少による生産量の低下等の影響を大きく受けまして、廃棄物や資源の運用効率が低下する傾向となりました。 生産量減少期間中に、より良い生産環境を目指すため、積極的な工場内5s活動に取り組んでおりました。その影響もありまして、廃棄物に関しましては見かけ数値上、生産量に対し廃棄物が増加傾向に見える結果となりました。 用水使用量に関しましても同様に、フル生産を実施せずとも生産ラインのメンテナンスは定期的実施する為、増加となりました。 今年度は、生産量の増加と共に運用をより効率化し、昨年度未達となりました目標達成を目指すよう取り組んで参ります。
第20-0004号 (株)ネエチア	コピー用紙などの印刷に使用する用紙は再生紙利用だが、カタログ等は再生紙ではない為、今後検討したい。 低公害車の導入はリース時に順次入替を実施している為、今後も継続していきます。 取り組んだ内容は少なかったかもしれませんが、出来ることから取り組むよう心掛けています。
第20-0005号 (有)青柳商店	取り組み内容は少ないかもしれませんが、できることを取り組み、今後も環境に配慮していきたいと考えております。

第20-0006号 ㈱山勝	当社は現在『働き方改革』を推進しており、業務の見直しを通して時間外労働の削減とエネルギー消費の削減に取り組んでいる。特に当社においてエネルギー消費の大部分を占める工場重機とトラックの稼働体制の見直し推進により一定の成果を得られたと考えている。
第20-0008号 ㈱タズミ	令和5 年度も継続して、焼却ごみの中から燃料化を推進し、事業者、自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化を推進致しました。結果、13,109トンの廃棄物を再生固形燃料として販売し利用していただくことができました。 また重油換算では9,163 kl の化石燃料の削減につながりました。令和5 年度では社用車に新たに電気自動車を追加した以外に、本社で使用している重機のユンボも老朽化のため、新しい物を導入し、環境負荷にやさしい設備に切り替えを行いました。 本年も引き続き持続可能な社会実現に向け、廃棄物の再資源化を推進し、地球温暖化対策を積極的に実行致します。
第21-0001号 株式会社KYOEI	スタッフ全員ができる取り組みとして、引き続き下記の取り組みを継続して実施。 ・印刷よりコピーの方が高いため、コピーを抑制 ・継続している手差しの再利用、再々利用もスタッフに定着してきたと感じた。 ・梱包資材は再利用をすることも大切ですが、段ボールや緩衝材などは一定の量を保つよう心掛けることで整理整頓ができた ・電気使用量はデマンド値を意識し、値が高くなった場合はエアコンの設定温度を上げ下げすることで、来年の電気料金に影響するデマンド値を調整。結果電気料金の抑制につながった。 引き続き取り組みを実施しますが、小さくてもできる事を継続していくことが大切だと実感しています。
第22-0001号 ㈱紺野企業	会社全体で一人ひとりが意識して取り組むことができました。 今後更なる環境の改善に努めて参ります。
第22-0002号 横浜乳業㈱	昨年に引き続き、焼却灰は燃え残りや湿った灰をゴミと混ぜて再度焼却する事で軽量化し発生量を削減。 また分別に対しても監視強化して毎月の状況を報告しております。 トラブルでの廃棄製品発生量も少なく、上記の焼却灰を含めても資源化率は99%超えで更に向上しております。 また今期は製造量が増加した影響（昨年対比101.6%）もあり、電気、都市ガス、水の使用量が微増という結果になってしまいました。
第22-0003号 ㈱川崎製作所	社内の環境に対する意識の向上、コスト削減にも貢献できており、継続して努力していく。
第24-0001号 トピー工業㈱綾瀬製造所	環境月間に環境朝礼を行うなど、社員全員が環境意識を持って取り組むことができました。取組目標の他に、できることから取り組むよう定期的に工場・事業所毎のチームで会議を開催しております。今後も継続して、社員全員の環境意識の向上とさらなる環境負荷低減・環境の向上に努めてまいります。
第24-0005号 ㈱中電社	『資源循環・有効利用』を重点課題として取り組み、7年間継続しています。 廃棄物の排出抑制とリサイクルを主に、建設現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進してきました。 環境負荷の低減に向けた取組は、昨年の数値と変わりませんでしたが、今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続してまいります。

第24-0006号 (株)かなしんオフセット	各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量の削減を目標とした。 そして紙の購入枚数、電気使用量ともに削減することができた。
第25-0002号 秋本食品(株)	① かながわSDGs パートナー参画企業です。 ② 2022 年に自家消費型太陽光発電システムを導入し、使用電力量の約 2 割を再生可能エネルギーに置き換えています。 ③ 再生可能エネルギーの利用によるCO2 等の排出削減量によるCO2 等の吸収量を「クレジット」として国が認証するJ クレジット制度に2023 年10 月に参画しました。 ④ SDGs 活動として、「かながわプラゴミゼロ宣言」、「かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度」に参画を検討中です。
第26-0001号 エムケーチーズ株式会社	全従業員の環境意識高揚と環境取組の活性化を目標として取り組んでいます。 省エネ活動としては未使用箇所の節電や漏れ箇所への対応、ムダ使いについて少しずつ浸透してきたと感じています。 産業廃棄物については廃棄物保管場所へ捨てる人それぞれの意識が高まり、適正に分別出来てきたと感じています。今後も3R推進と省エネ活動を進捗していきます。
第26-0004号 大平食品加工(株)	取組結果は数値化し、継続していくことで、前年比など具体的な成果の可視化を取り入れていきたいと考えます。 今後は、地球温暖化防止対策について、関連する取り組みを強化していきたいと思います。
第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所	昨年度はLPガス使用量が未達であったが、今年度2023年度は両方の取組とも目標を達成することができた。
第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター	従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めている。令和5年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO ₂ 排出量の削減に努めているが、エネルギー原単位は約2.4%増加し、電気使用量も気温上昇に伴う空調負荷増により、1.7%増加しました。引き続き省エネ施策による削減を行うが、人の増員や機器の増加により使用量等が増加する見込みである。 空調換気システムの改善、太陽光発電等を活用して省エネ対策に取り組んでいく。
第26-0009号 日本蛍光化学(株)	従来より、取り組んできた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。
第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場	社員全員が常に環境意識及び5Sを持って取り組むことができました。 コロナ禍においても昨年末からホテルの稼働が高くなったままで忙しくなりましたが取り組みました。 コロナ過で従業員が減り、タイミー等バイト多用により生産性が低下し、電気、ガス使用量が増えてしまった。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。
第33-0001号 (株)藤井工務店	令和3 年9 月に登録を行い環境負担を低減させるための取組を実施している。少しずつだが結果は出している。 社員の環境への意識も少しずつ変わってきている。

綾瀬市環境報告書 2023(令和5)年度取組結果
2025(令和7)年3月発行

発行 神奈川県綾瀬市

編集 市民環境部環境保全課環境保全担当

〒252-1192 綾瀬市早川550番地

電話 0467-70-5619(直通)